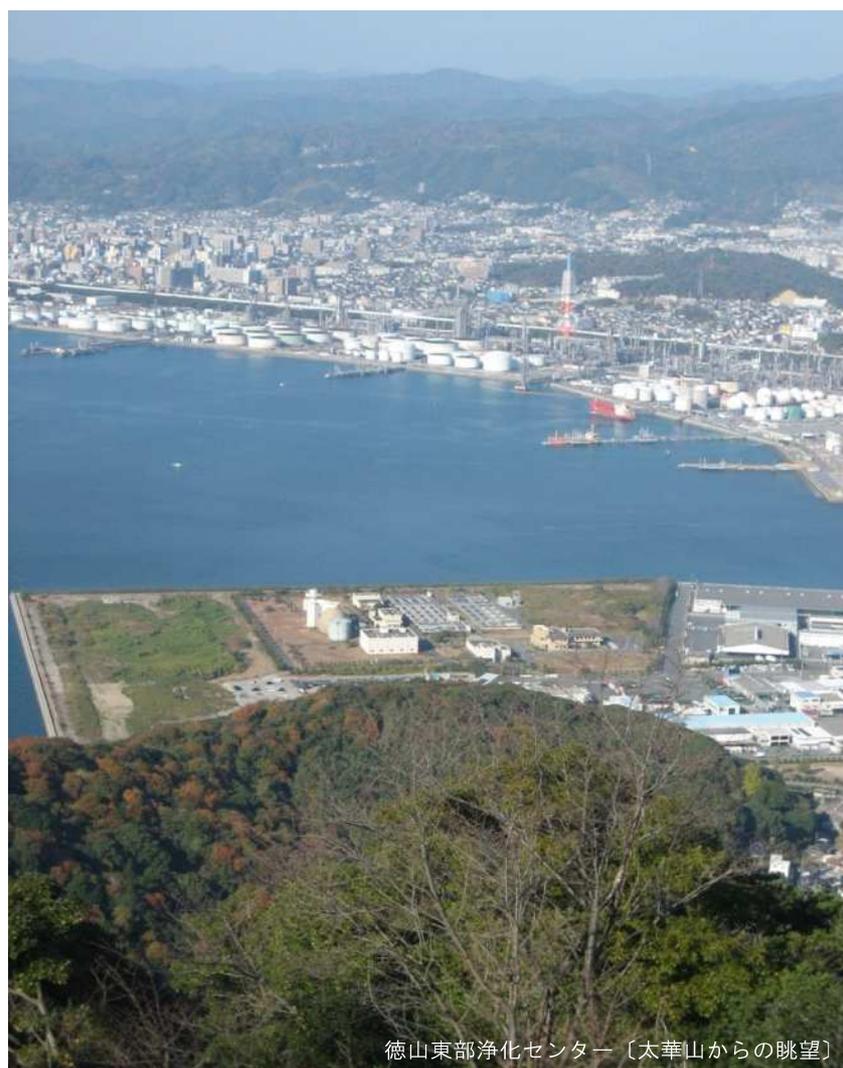


# 周南市の下水道

2023年(令和5年)



徳山東部浄化センター〔太華山からの眺望〕

周南市上下水道局

## 目 次

1. 周南市の下水道	1
2. 公共下水道のあゆみ	2
3. 公共下水道事業の概要	3
【1】 全体計画の概要	
【2】 事業計画の概要	
※ 周南市下水道計画図	4
4. 浄化センターの概要	
資料 - 1	5
資料 - 2	6
5. ポンプ場の概要	7
【1】 汚水ポンプ場	
【2】 雨水ポンプ場	
6. 公共下水道建設事業実績	8
7. 公共下水道の整備状況	9
8. 集落排水施設の概要	10
9. 汚水処理人口普及率	11
10. 下水道使用料	12
11. 水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給制度	13
12. 下水道事業の財政状況	14
13. 周南市上下水道局の組織	16

## 1 周南市の下水道

○下水道の主な役割は、生活環境の改善や浸水の防除等による都市の健全な発達と公衆衛生の向上、並びに公共用水域の水質保全を図ることにあります。

○本市の下水道事業は、公共下水道4処理区(流域関連公共下水道1処理区)、特定環境保全公共下水道3処理区で整備を進め、令和4年度末の処理区域内人口は121,523人で、公共下水道の普及率は88.5%となっています。

○また、農業集落排水3地区、漁業集落排水1地区の整備は完了しており、集落排水と合併処理浄化槽による整備人口を加えた汚水処理人口普及率は、95.8%となっています。

○一方、下水道施設は、供用開始から50年が経過した徳山中央処理区始め、新南陽処理区も供用開始から40年以上経過するなど、老朽化が進む施設の改築・更新が大きな課題となっています。また、ゲリラ豪雨などの発生により、浸水被害が出ていることから、市民の安心・安全のため、より一層の関係機関との連携し対策を図っていく必要があります。

○なお、平成23年4月より、計画的で効率的な事業運営と経営の透明性の向上を図るため、地方公営企業法を全部適用するとともに、水道局と組織統合し、上下水道局として事業運営にあたっています。



## 2 公共下水道のあゆみ

令和5年3月31日末現在

昭和21年	10月	---	本市最初の下水道事業国庫補助を受け御幸通から事業を開始
昭和23年	10月	30日	徳山市公共下水道事業認可
昭和41年	10月	1日	徳山中央浄化センター供用開始(中央処理区)
昭和48年	5月	2日	新南陽市公共下水道事業認可
昭和49年	11月	1日	江口ポンプ場供用開始(合流系統)
昭和54年	12月	1日	新南陽浄化センター供用開始(新南陽処理区)
昭和55年	4月	1日	野村開作排水ポンプ場供用開始(富田南部第1排水区)
昭和56年	1月	21日	熊毛町流域関連公共下水道事業認可
昭和57年	4月	1日	古開作汚水中継ポンプ場供用開始
昭和60年	10月	1日	江口ポンプ場供用開始(分流系統)
昭和60年	12月	1日	福川汚水中継ポンプ場供用開始
昭和63年	4月	1日	熊毛町流域関連公共下水道供用開始(周南処理区)
平成元年	1月	13日	徳山市特定環境保全公共下水道事業認可(湯野地区)
平成 2年	4月	1日	徳山東部浄化センター供用開始(東部処理区)
平成 5年	11月	11日	新南陽市特定環境保全公共下水道事業認可
平成 7年	2月	16日	鹿野町特定環境保全公共下水道事業認可
平成 7年	10月	1日	福川雨水ポンプ場供用開始(福川西部第1排水区)
平成 8年	9月	1日	新南陽北部浄化センター供用開始(特定環境保全公共下水道)
平成11年	10月	26日	鹿野浄化センター供用開始(特定環境保全公共下水道)
平成18年	2月	20日	周南市公共下水道事業計画変更認可
平成18年	3月	17日	周南市流域関連公共下水道事業計画変更認可
平成19年	7月	9日	新地雨水ポンプ場建設着手(福川西部第2排水区)
平成22年	9月	27日	徳山中央浄化センター再構築事業着手
平成22年	10月	1日	周南市公共下水道事業計画変更認可
平成23年	3月	24日	周南市流域関連公共下水道事業計画変更認可
平成23年	3月	31日	新地雨水ポンプ場供用開始(福川西部第2排水区)
平成24年	3月	14日	周南市公共下水道事業計画変更認可
平成26年	3月	28日	周南市公共下水道事業計画変更
平成28年	3月	10日	周南市流域関連公共下水道事業計画変更
平成28年	3月	29日	周南市公共下水道事業計画変更
平成29年	6月	21日	周南市流域関連公共下水道事業計画変更
平成30年	4月	2日	周南市公共下水道事業計画変更
令和 2年	6月	30日	周南市公共下水道事業計画変更
令和 5年	3月	15日	周南市流域関連公共下水道事業計画変更
令和 5年	3月	15日	周南市公共下水道事業計画変更

### 3 公共下水道事業の概要

#### 【1】 全体計画の概要

	周南市計	公共下水道						流域関連	
		徳山中央	徳山東部	新南陽	新南陽北部	鹿野	公共計	周南	
目標年度		令和27年度						令和27年度	
行政人口(人)		107,600						10,800	
計画処理面積(ha)	3,900	634.2	1,291.1	1,225.4	39.5	110.6	3,301	599.6	
計画処理人口(人)	98,130	22,800	36,200	28,300	430	1,200	88,930	9,200	
計画日最大汚水量(m <sup>3</sup> /日)	計画区域	56,957	19,700	17,700	14,200	500	700	52,800	4,157
	流入区域	1,100	—	1,100	—	—	—	1,100	—
	計	58,057	19,700	18,800	14,200	500	700	53,900	4,157
処理能力(m <sup>3</sup> /日)	67,240	23,100	22,700	18,600	840	2,000	67,240	—	
汚水ポンプ場	3	1		2			3		
雨水ポンプ場	5			5			5		

※公共下水道:R5.3.15付, 流域関連公共下水道:R5.3.15付

#### 【2】 事業計画の概要

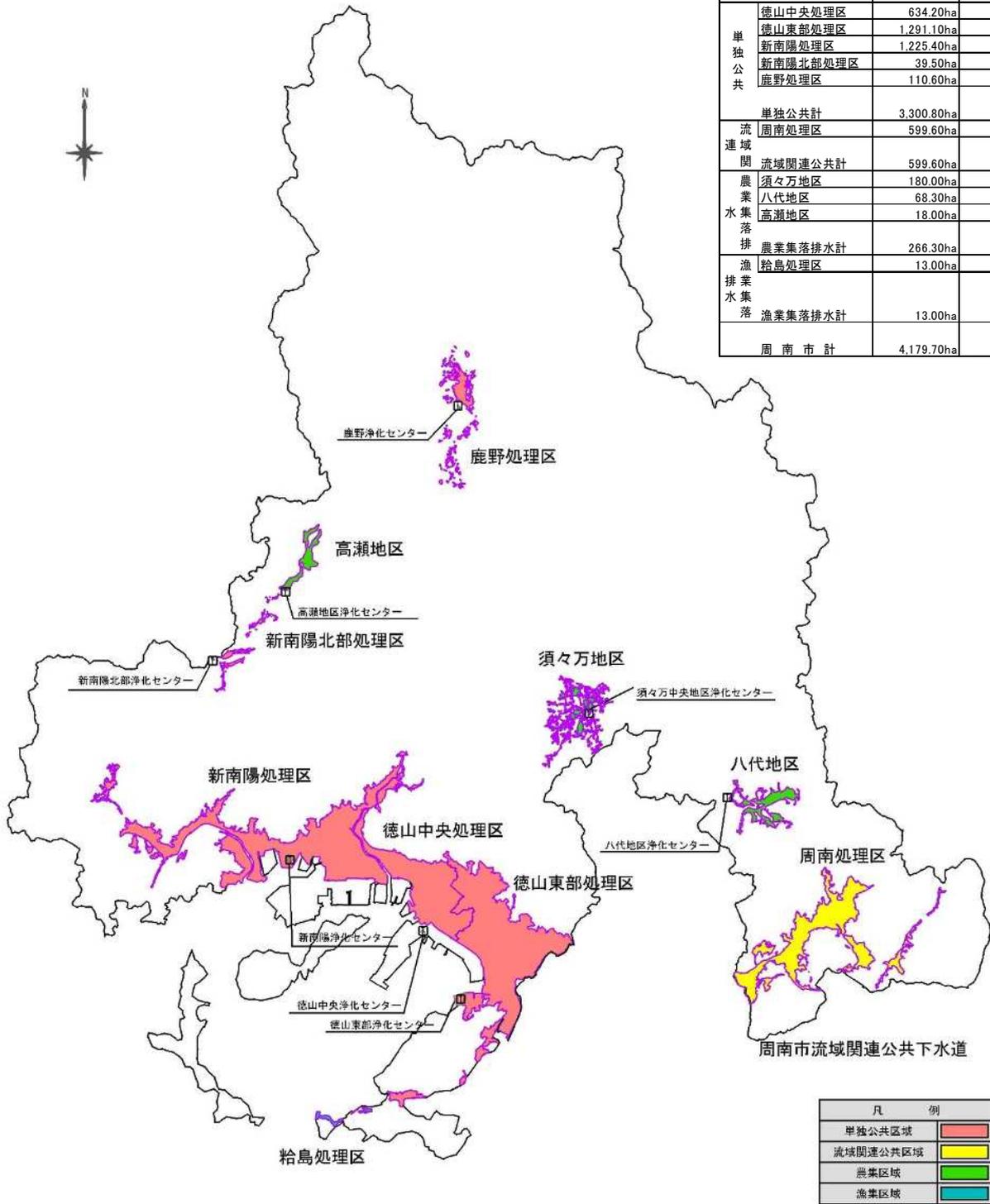
	周南市計	公共下水道						流域関連	
		徳山中央	徳山東部	新南陽	新南陽北部	鹿野	公共計	周南	
目標年度		令和11年度						令和11年度	
行政人口(人)	137,300	128,500						13,400	
計画処理面積(ha)	3,900	634.2	1,291.1	1,225.4	39.5	110.6	3,301	599.6	
計画処理人口(人)	115,430	26,900	42,000	33,090	600	1,600	104,190	11,240	
計画日最大汚水量(m <sup>3</sup> /日)	計画区域	64,634	21,600	20,400	16,400	300	900	59,600	5,034
	流入区域	1,100	—	1,100	—	—	—	1,100	—
	計	65,734	21,600	21,500	16,400	300	900	60,700	5,034
処理能力(m <sup>3</sup> /日)	102,765	42,000	25,600	32,700	465	2,000	102,765	—	
処理場敷地面積(ha)	23.40	2.53	14.01	5.70	0.34	0.82	23.40	—	
汚水ポンプ場	3	1		2			3		
雨水ポンプ場	5			5			5		

※公共下水道:R5.3.15付, 流域関連公共下水道:R5.3.15付

# 周南市下水道計画図

令和5年3月15日

名称	計画区域面積	内特環面積	
単独公共	徳山中央処理区	634.20ha	—
	徳山東部処理区	1,291.10ha	—
	新南陽処理区	1,225.40ha	28.00ha
	新南陽北部処理区	39.50ha	39.50ha
	鹿野処理区	110.60ha	110.60ha
単独公共計	3,300.80ha	178.10ha	
流域関連	周南処理区	599.60ha	—
	流域関連公共計	599.60ha	—
農業水集落排水	須々万地区	180.00ha	—
	八代地区	68.30ha	—
	高瀬地区	18.00ha	—
	農業集落排水計	266.30ha	—
漁排水集落	給島処理区	13.00ha	—
	漁業集落排水計	13.00ha	—
周南市計	4,179.70ha	178.10ha	



#### 4 浄化センターの概要

資料 - 1

浄化センター名	施設概要			
徳山中央 浄化センター	 <p style="text-align: center;">発電機棟</p>	事業着手年度	昭和37年度	
		供用開始年月日	昭和41年10月1日	
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	25,300	
		処理方式	標準活性汚泥法	
		処理能力(m <sup>3</sup> /日)	全体計画	23,100
			事業計画	42,000
現 有	42,000			
徳山東部 浄化センター	 <p style="text-align: center;">卵型消化槽</p>	事業着手年度	昭和58年度	
		供用開始年月日	平成2年4月1日	
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	140,100	
		処理方式	標準活性汚泥法	
		処理能力(m <sup>3</sup> /日)	全体計画	22,700
			事業計画	25,600
現 有	19,200			
新南陽 浄化センター	 <p style="text-align: center;">管理本館</p>	事業着手年度	昭和49年度	
		供用開始年月日	昭和54年12月1日	
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	57,000	
		処理方式	標準活性汚泥法	
		処理能力(m <sup>3</sup> /日)	全体計画	18,600
			事業計画	32,700
現 有	32,700			

浄化センター名	施設概要			
新南陽北部 浄化センター	 <p data-bbox="512 824 646 853">水処理施設</p>	事業着手年度	平成5年度	
		供用開始年月日	平成8年9月1日	
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	3,420	
		処理方式	オキシデーション ディッチ法	
		処理能力(m <sup>3</sup> /日)	全体計画	840
			事業計画	465
現 有	465			
鹿野浄化 センター	 <p data-bbox="512 1346 646 1375">水処理施設</p>	事業着手年度	平成7年度	
		供用開始年月日	平成11年10月26日	
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	8,200	
		処理方式	オキシデーション ディッチ法	
		処理能力(m <sup>3</sup> /日)	全体計画	2,000
			事業計画	2,000
現 有	2,000			

## 5 ポンプ場の概要



### 【1】 汚水ポンプ場

		江口P		古開作	福川
		合流	分流	汚水中継P	汚水中継P
事業着手年度	-	S43	S57	S54	S57
供用開始	-	S49.11.1	S60.10.1	S57.4.1	S60.12.1
敷地面積(m <sup>2</sup> )	-	2,100		780	1,050
計画処理人口(人)	全体計画	770	7,200	-	-
	事業計画	930	8,200	-	-
計画処理面積(ha)	-	18.7	257.0	538.8	425.4
時間最大汚水量(m <sup>3</sup> /分)	全体計画	0.65	5.00	6.46	4.79
	事業計画	0.72	5.49	16.53	8.33
計画流入水量(m <sup>3</sup> /分)	-	1	6	17	9

### 【2】 雨水ポンプ場

	福川	中開作	富田中央	新地	野村開作
	雨水P	雨水P	雨水P	雨水P	排水P
事業着手年度	H6	-	-	H19	S52
供用開始	H7.10.1	-	-	H23.3.31	S55.4.1
敷地面積(m <sup>2</sup> )	2,400	3,400	5,180	2,580	7,500
計画排水面積(ha)	40.6	77.6	175.0	35.2	237.6
計画流入水量(m <sup>3</sup> /分)	474	864	1,455	347	1,640

## 6 公共下水道建設事業実績

年 度	整備状況(上段):年度整備量)		建設事業費投資額(千円)					
	処理面積(ha)	処理人口(人)	普及率(%)	区分	污水管渠	雨水管渠	処理場	合計
平成27年度まで	3,033	126,877	(86.3)	補助事業費	40,965,662	9,624,975	39,629,553	90,220,190
				総事業費	66,158,522	10,704,176	43,848,292	120,710,990
28	(10)	(-692)	(0.2)	補助事業費	399,194	493,041	591,890	1,484,125
	3,043	126,185	(86.5)	総事業費	510,970	590,944	683,919	1,785,833
29	(4)	(-954)	(0.2)	補助事業費	296,564	591,212	182,793	1,070,569
	3,047	125,231	(86.7)	総事業費	426,491	676,429	251,940	1,354,860
30	(3)	(-1,069)	(0.1)	補助事業費	145,852	183,775	405,802	735,429
	3,050	124,162	(86.8)	総事業費	313,372	347,031	585,536	1,245,939
令和元年度	(1)	(-865)	(0.0)	補助事業費	73,799	800,751	105,549	980,099
	3,051	123,297	(86.8)	総事業費	270,770	887,529	193,076	1,351,375
令和2年度	(5)	(-1,021)	(0.3)	補助事業費	27,971	1,222,507	328,622	1,579,100
	3,056	122,276	(87.1)	総事業費	376,905	1,354,432	329,579	2,060,916
令和3年度	(3)	(-1,190)	(0.2)	補助事業費	26,695	1,112,200	25,141	1,164,036
	3,059	121,086	(87.3)	総事業費	371,275	1,248,574	145,591	1,765,440
令和4年度	(4)	(437)	(1.2)	補助事業費	74,692	167,135	1,174,836	1,416,663
	3,063	121,523	(88.5)	総事業費	249,938	286,851	1,455,017	1,991,806
令和4年度まで	—	—	—	補助事業費	42,010,429	14,195,596	42,444,186	98,650,211
				総事業費	68,678,243	16,095,966	47,492,950	132,267,159

污水管渠：合流管、污水ポンプ場を含む

雨水管渠：雨水ポンプ場を含む

## 7 公共下水道の整備状況

令和5年3月31日現在

	行政区域 面積 (ha)	行政区域 人口 A (人)	事業計画 面積 (ha)	管渠延長 (m)	処理区域 面積 (ha)	処理区域内 人口 B (人)	処理区域内 戸数 (戸)	水洗化人口 C (人)	水洗化戸数 (戸)	下水道 普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)
徳山	34,010	90,938	2,275	495,801	1,670	80,037	40,071	75,600	37,917	88.0	94.5
新南陽	6,426	29,223	915	183,647	851	27,751	13,380	27,018	13,016	95.0	97.4
熊毛	7,050	14,411	600	101,396	475	11,918	5,454	10,821	4,935	82.7	90.8
鹿野	18,146	2,676	110	36,221	97	1,817	1,008	1,571	877	67.9	86.5
令和4年度末	65,632	137,248	3,900	817,065	3,092	121,523	59,913	115,010	56,745	88.5	94.6

## 8 集落排水施設の概要

		農業集落排水施設						漁業集落排水施設
		須々万地区		山手地区	高瀬地区	八代地区	島	
		須々万市地区	須々万地区					
事業開始年度	昭和59年度	昭和63年10月25日	平成12年4月1日	平成7年度	平成8年度	平成14年度	平成5年度	
完了年度	平成3年度		平成12年度	平成14年度	平成19年度	平成19年度	平成9年度	
供用開始年月日		昭和63年10月25日	平成12年4月1日	平成12年4月1日	平成12年7月1日	平成18年4月1日	平成10年4月1日	
計画面積(ha)	50		130		18	68.3	13	
管渠延長(m)	10,576		34,973		6,968	20,392	5,567	
マンホールポンプ数(箇所)		19			8	6	5	
処理場面積(m <sup>2</sup> )	—		7,000		1,170	1,700	徳山東部浄化センターへ接続	
計画日平均汚水量(m <sup>3</sup> /日)	486		1,229		122	297	370	
計画人口(人)	定住人口	1,144	3,523		254	824	550	
	流入人口	576	1,257		195	274	110	
総投資額(千円)	877,000		3,727,593		693,775	1,260,489	535,000	
令和4年度末	処理区域内	戸数(戸)	390	1,485	76	237	157	
	人口(人)	761	3,111	141	462	287	287	
水洗化	戸数(戸)	374	1,437	68	182	117	117	
	人口(人)	729	3,014	126	354	212	212	
水洗化率(%)	95.8		96.9		89.4	76.6	73.9	

※計画人口は、事業採択時の目標人口を表わす。

※平成29年度より須々万市地区と山手地区を統合。(H28.7.11より須々万市地区から須々万中央地区浄化センター(山手地区)に送水開始。)

## 9 污水処理人口普及率(令和4年度末)

	公共下水道	特定環境保全公共下水道	農業集落排水	漁業集落排水	合併処理浄化槽	合計
徳山地域	計画区域内人口(人)	80,619	586	3,872	287	90,938
	処理人口(人)	79,470	567	3,872	287	87,532
	普及率(%)	98.6	96.8	100.0	100.0	96.3
新南陽地域	計画区域内人口(人)	28,077	640	141		29,223
	処理人口(人)	27,114	637	141	233	28,125
	普及率(%)	96.6	99.5	100.0	63.8	96.2
熊毛地域	計画区域内人口(人)	12,288		462		14,411
	処理人口(人)	11,918		462	1,061	13,441
	普及率(%)	97.0		100.0	63.9	93.3
鹿野地域	計画区域内人口(人)		1,833			2,676
	処理人口(人)		1,817		615	2,432
	普及率(%)		99.1		73.0	90.9
合計	計画区域内人口(人)	120,984	3,059	4,475	287	137,248
	処理人口(人)	118,502	3,021	4,475	287	131,530
	普及率(%)	97.9	98.8	100.0	100.0	95.8

## 10 下水道使用料

下水道使用料の算定根拠となる使用水量は、市の条例により算定されます。

1 か月あたりの「基本料金」と使用水量により増減する「従量料金単価」は次表のとおりです。

下水道使用料金単価表

区 分	基本料金と従量料金(1 か月あたり：消費税込)			
	基本料金		従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> につき)	
一般汚水	1,350.80 円		10 m <sup>3</sup> まで	17.60 円
			10 m <sup>3</sup> を超え 20 m <sup>3</sup> まで	174.90 円
			20 m <sup>3</sup> を超え 30 m <sup>3</sup> まで	196.90 円
			30 m <sup>3</sup> を超え 50 m <sup>3</sup> まで	206.80 円
			50 m <sup>3</sup> を超え 100 m <sup>3</sup> まで	214.50 円
			100 m <sup>3</sup> を超え 200 m <sup>3</sup> まで	220.00 円
			200 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	224.40 円
			500 m <sup>3</sup> を超え 1,000 m <sup>3</sup> まで	229.90 円
			1,000 m <sup>3</sup> を超えるもの	235.40 円
公衆浴場等	100 m <sup>3</sup> まで	10,450.00 円	100 m <sup>3</sup> を超えるもの	66.00 円
備 考	<p>&lt;一般汚水の基本料金の日割算定&gt;            使用算定期間は2か月です。期間の中途において、下水道等の使用を「新規開始または再開始」、或いは「休止または廃止」したときの基本料金額は、次のとおりです。</p> <p>(1) 使用日数が15日以内のときは1月の2分の1            (2) 使用日数が16日から30日までのときは1月            (3) 使用日数が31日から45日までのときは1月の2分の3            (4) 使用日数が46日以上は1月の2分の4</p>			

### 1. 水道水のみを使用の場合

水道を使用した量をそのまま下水道の使用水量とみなします。

### 2. 井戸水のみを使用の場合(家庭用)

1人当たり6m<sup>3</sup>/月として認定します。

### 3. 水道水と井戸水を併用の場合(家庭用)

水道の使用水量と井戸水の認定水量を合計したものを使用水量とみなします。

なお、井戸水の認定は1人当たり3m<sup>3</sup>/月として認定します。

### 4. 営業用等で井戸水等を使用する場合

使用状況が固定的な場合は、使用水量をみなし認定します。なお、不特定多数の方が使用する店舗や事業所などの場合は、量水器(メーター)を市が設置し井戸水等の使用水量を測定し、それを下水道の使用水量とみなします。

### 5. 水道水等の使用水量のうち、著しい量が下水道に排除されない場合

下水道に排出されない水量があり、使用側で量水器を設置するなどそれを確実に計測することが出来る場合は、所定手続きにより使用水量から減量できます。

## 11 水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給制度

○周南市の下水道処理区域内においては、水洗化の普及促進、公衆衛生の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給を上下水道局が行う制度があります。

○※○漁業集落排水事業を除く。

### ■ 対象となる工事

○周南市の下水道処理区域内の建物について、くみ取り便所を水洗トイレに改造する、または、浄化槽を廃止して下水道に直結するための工事。

### ■ 制度利用の条件

1. 建物の所有者または使用者であること。（法人は除く）

○※○使用者である場合は、工事をするについて建物の所有者の同意が必要です。

2. 市税等の滞納がないこと。

3. 改造資金を一時に負担することが困難であること。

4. 融資を受けた改造資金の償還に十分な能力があること。

5. 弁済能力のある確実な連帯保証人があること。

○※○連帯保証人は、申請者本人と別世帯で市内に居住し、独立の生計を営んで

○○いることを要します。

6. 処理開始の公示の日から3年以内であること。

### ■ 融資あっせん額

○改造工事1件につき60万円以内で1万円単位。公共下水道区域での融資あっせん限度額は300万円。農業集落排水区域での融資あっせん限度は改造工事2件まで。

※ 改造工事1件とは、大・小便器1組または大小兼用便器1個のことです。

### ■ 融資手続き

ご本人と制度で定める指定金融機関の融資契約となります。

### ■ 償還方法

融資を受けた月の翌月から36ヶ月以内の元金均等月賦償還。

### ■ 利子補給

融資額の完済後、融資を受けた方が指定する口座に振り込みます。

改造工事1件につき、融資金45万円にかかった利子額を上限として補助します。

## 12 下水道事業の財政状況

### ◆収益的収支

(単位:円 税抜)

科 目	令和4年度決算額
下水道事業収益	4,843,052,240
下水道使用料	2,179,702,919
他会計負担金	1,515,607,672
他会計補助金	76,120,802
長期前受金戻入	1,036,984,141
その他	34,636,706
下水道事業費用	4,725,554,767
人件費	374,324,493
動力費	238,924,650
薬品費	33,025,320
修繕・材料費	187,207,219
委託料	698,042,882
減価償却費	2,642,486,479
支払利息	267,645,804
その他	283,897,920
当年度純利益	117,497,473

### ◆使用料単価・汚水処理原価

(単位:円/m<sup>3</sup>)

区分	令和4年度
使用料単価	168.80
汚水処理原価	172.90
維持管理費	113.72
減価償却費等	59.19

### ◆資本的収支

(単位:円 税込)

科 目	令和4年度決算額
下水道事業資本的収入	1,745,177,164
企業債	825,700,000
他会計出資金	254,296,487
国庫補助金	649,767,462
受益者負担金等	15,413,215
下水道事業資本的支出	3,690,656,100
公共下水道建設費	1,992,035,397
特定環境保全下水道建設費	31,358,770
流域下水道建設費	5,010,348
農業集落排水建設費	13,098,783
漁業集落排水建設費	31,721,800
企業債償還金	1,615,075,884
その他	2,355,118
損益勘定留保資金等補てん財源※	1,965,878,936

※資本的収入(翌年度へ繰り越される支出の財源として充当する額20,400,000円を除く。)が資本的支出に不足する額を補てんするもの。

《損益計算書》（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

1. 営業収益		3. 営業外収益	
(1) 下水道使用料	2,179,702,919	(1) 受取利息及び配当金	592,852
(2) 他会計負担金	723,345,881	(2) 他会計負担金	792,261,791
(3) 他市負担金	13,602,740	(3) 他会計補助金	76,120,802
(4) 受託事業収益	502,000	(4) 長期前受金戻入	1,036,984,141
(5) その他営業収益	11,027,314	(5) 雑収益	8,703,690
	<u>2,928,180,854</u>		<u>1,914,663,276</u>
2. 営業費用		4. 営業外費用	
(1) 管渠費	242,577,039	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	267,645,804
(2) ポンプ場費	96,278,695	(2) 雑支出	24,891,303
(3) 流域下水道管理費	93,952,393		<u>292,537,107</u>
(4) 処理場費	1,006,946,183		<u>1,622,126,169</u>
(5) 水洗化促進費	59,093		
(6) 業務費	111,429,816		
(7) 総係費	208,780,484		
(8) 受託事業費	502,000		
(9) 減価償却費	2,642,486,479		
(10) 資産減耗費	28,939,599		
	<u>4,431,951,781</u>		
		經常利益	118,355,242
		5. 特別利益	
		(1) その他特別利益	208,110
			<u>208,110</u>
		6. 特別損失	
		(1) 過年度損益修正損	910,797
		(2) その他特別損失	155,082
			<u>1,065,879</u>
			<u>△ 857,769</u>
営業損失	1,503,770,927	当年度純利益	117,497,473
		その他未処分利益剰余金変動額	86,820,447
		当年度未処分利益剰余金	<u>204,317,920</u>

《貸借対照表》（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

科目	決算額	科目	決算額
資産	72,485,637,028	負債	41,855,705,505
固定資産	68,490,835,170	固定負債	16,331,796,662
有形固定資産	67,978,380,472	企業債	15,953,881,334
土地	9,431,644,331	退職給付引当金	377,915,328
建物	3,432,277,908	流動負債	3,199,647,927
構築物	46,767,725,526	企業債(1年以内に償還予定)	1,558,347,503
機械及び装置	6,628,581,739	未払金	1,610,570,170
工具器具及び備品	7,779,429	賞与引当金	30,721,650
建設仮勘定	1,710,371,539	その他	8,604
無形固定資産	512,454,698	繰延収益	22,324,260,916
施設利用権	512,276,138	長期前受金	35,167,714,095
ソフトウェア	178,560	収益化累計額	△ 12,843,453,179
流動資産	3,994,801,858	資本	30,629,931,523
現金預金	3,251,133,712	資本金	25,511,326,834
未収金	356,680,942	固有資本金	16,599,514,118
貸倒引当金	△ 13,912,796	出資金	7,693,872,738
有価証券	100,000,000	組入資本金	1,217,939,978
前払金	300,900,000	剰余金	5,118,604,689
		資本剰余金	4,795,881,063
		受贈財産評価額	894,513,192
		その他資本剰余金	3,901,367,871
		利益剰余金	322,723,626
		減債積立金	118,405,706
		当年度未処分利益剰余金	204,317,920
資産合計	72,485,637,028	負債・資本合計	72,485,637,028

### 13 周南市上下水道局の組織(共通部門及び下水道部門)

R5.4.1現在

部局	課	担当	事務分掌	
上下水道局	総務課	総務担当	(1) 職員の人事及び研修に関すること。 (2) 職員の給与及び厚生に関すること。 (3) 人事管理に関すること。 (4) 法制事務に関すること。 (5) 庁舎に関すること。 (6) 災害対策及び漏水対策に関すること。 (7) 電子計算機の管理運営に関すること。 (8) 公印の管守に関すること。 (9) 局内の調整に関すること。	
		契約監理担当	(1) 各種工事等に関する入札及び契約(随意契約は除く。)に関すること。 (2) 物品及び業務委託に関する入札及び契約(随意契約は除く。)に関すること。	
		検査監	(1) 工事等の検査及び検収に関すること。	
	技監		(1) 建設部門の総合調整に関すること。 (2) 建設技術の統括、指導に関すること。 (3) 建設技術に係る制度改正に伴う連絡調整に関すること。 (4) 工事関係に係る事務の連絡調整に関すること。 (5) 工事に係る設計図書の確認に関すること。	
	企画調整課	下水道担当	(1) 下水道施設の新設、改良事業等の企画、調査、研究に関すること。 (2) 下水道事業の処理計画及び事業の調整に関すること。 (3) 下水道事業の統計等に関すること。 (4) 下水道事業の広報及び広聴に関すること。	
	財政課	下水道担当	(1) 予算及び決算に関すること。 (2) 出納事務に関すること。 (3) 資産に関すること。 (4) 財政計画に関すること。 (5) 経営の総合調整に関すること。 (6) 周南流域下水道に関すること。	
	料金課	料金担当	(1) 下水道使用料に関すること。 (2) 漏水、異常水量等の確認に関すること。 (3) メーターの維持管理に関すること。 (4) 徴収事務の委託に関すること。 (5) 受益者負担金・分担金の収納に関すること。	
	下水道工務課	整備担当	(1) 公共下水道(浄化センター及び中継ポンプ場を除く。)、都市下水路及び集落排水施設に関すること。 (2) 雨水ポンプ場の建設(土木工事)に関すること。	
		維持担当	(1) 下水道台帳の整備に関すること。 (2) 水洗化の普及促進に関すること。 (3) 排水設備指定工事店に関すること。 (4) 排水設備の設置申請の審査、指導及び検査に関すること。 (5) 受益者負担金・分担金の賦課に関すること。 (6) 水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給制度に関すること。	
	下水道施設課	整備担当	(1) 浄化センター及び汚水中継ポンプ場の建設の計画、改築の計画及び営繕工事に関すること。 (2) 雨水ポンプ場の営繕工事に関すること。 (3) 雨水ポンプ場の建設(機械電気設備)に関すること。	
		管理担当	(1) 鹿野浄化センター及び農業集落排水処理施設の運転管理及び維持管理に関すること。 (2) 特定事業場及び除害施設の指導及び検査に関すること。 (3) 浄化センターの水質管理及び汚泥管理に関すること。	
		徳山中央浄化センター		徳山中央浄化センター及び江口ポンプ場の運転管理及び維持管理に関すること。
		徳山東部浄化センター		徳山東部浄化センターの運転管理及び維持管理に関すること。
		新南陽浄化センター		(1) 新南陽浄化センター、新南陽北部浄化センター及び新南陽汚水中継ポンプ場の運転管理及び維持管理に関すること。 (2) 雨水ポンプ場の運転管理及び維持管理に関すること。
	徳山中央浄化センター再構築推進室		徳山中央浄化センターの再構築に関すること。	

職員数(下水道部門)

事務職	技術職	合計
13人	30人	43人

※再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員は含まない。





# 周南市の下水道

2023年（令和5年）版

2023年（令和5年）9月

編集・発行

周南市上下水道局  
(〒745-8655 周南市岐山通1-1)

各課の連絡先（共通部門及び下水道部門）

総務課	総務担当	TEL 0834-22-8613	FAX 0834-21-7269
	契約監理担当	TEL 0834-22-8625	FAX 0834-21-7269
		E-mail:suido-somu@city.shunan.lg.jp	
企画調整課	下水道担当	TEL 0834-22-8627	FAX 0834-22-7013
		E-mail:suido-kikaku@city.shunan.lg.jp	
財政課	下水道担当	TEL 0834-22-8605	FAX 0834-22-8636
		E-mail:suido-zai@city.shunan.lg.jp	
料金課	料金担当（下水道使用料）	TEL 0834-22-8606	FAX 0834-22-8636
	料金センター（検針/収納）	TEL 0834-22-8608	FAX 0834-22-7002
		E-mail:suido-bill@city.shunan.lg.jp	
下水道工務課	整備担当	TEL 0834-22-8628	FAX 0834-22-8637
	維持担当	TEL 0834-22-8630	FAX 0834-22-8637
		E-mail:gesuikomu@city.shunan.lg.jp	
下水道施設課	整備担当	TEL 0834-26-1504	FAX 0834-26-1519
	管理担当	TEL 0834-26-1531	FAX 0834-26-1519
	徳山中央浄化センター再構築推進室	TEL 0834-26-1517	FAX 0834-26-1519
		E-mail:gesuishise@city.shunan.lg.jp	
	徳山中央浄化センター	TEL 0834-22-8633	FAX 0834-22-8634
	徳山東部浄化センター	TEL 0834-26-1517	FAX 0834-26-1519
新南陽浄化センター	TEL 0834-61-4312	FAX 0834-62-5401	